

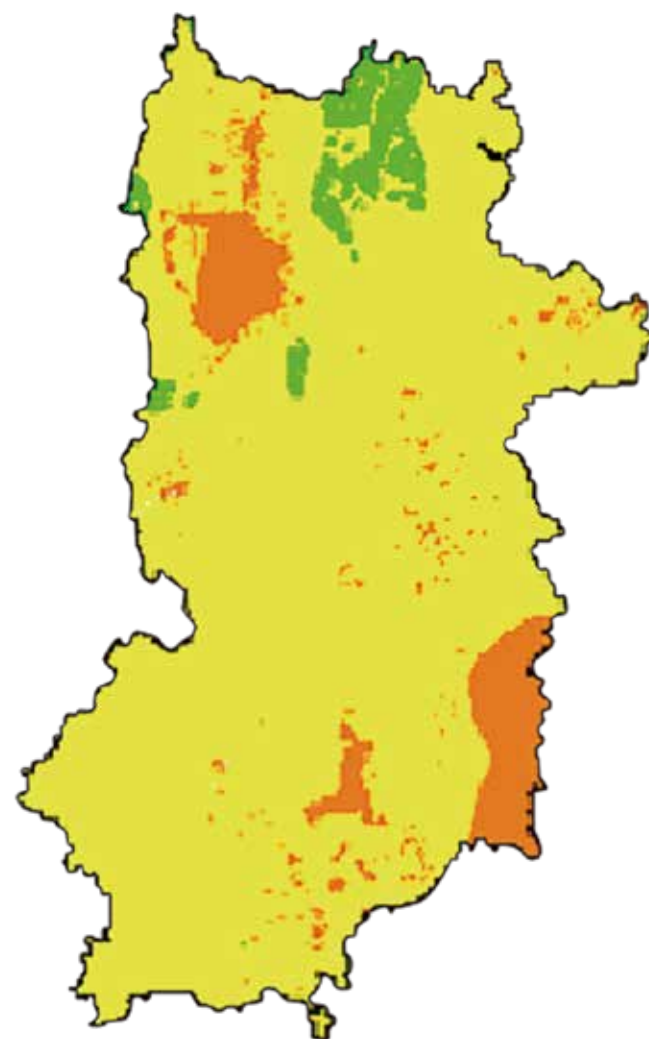


地震ハザードマップ

この「地震ハザードマップ」は、発生が予想される地震に関する情報と、地形や地盤の状況から想定される震源別に示しています。生駒市では、生駒断層帯による直下型地震が最も揺れが強く、想定震度は震度5強～震度7となっています。

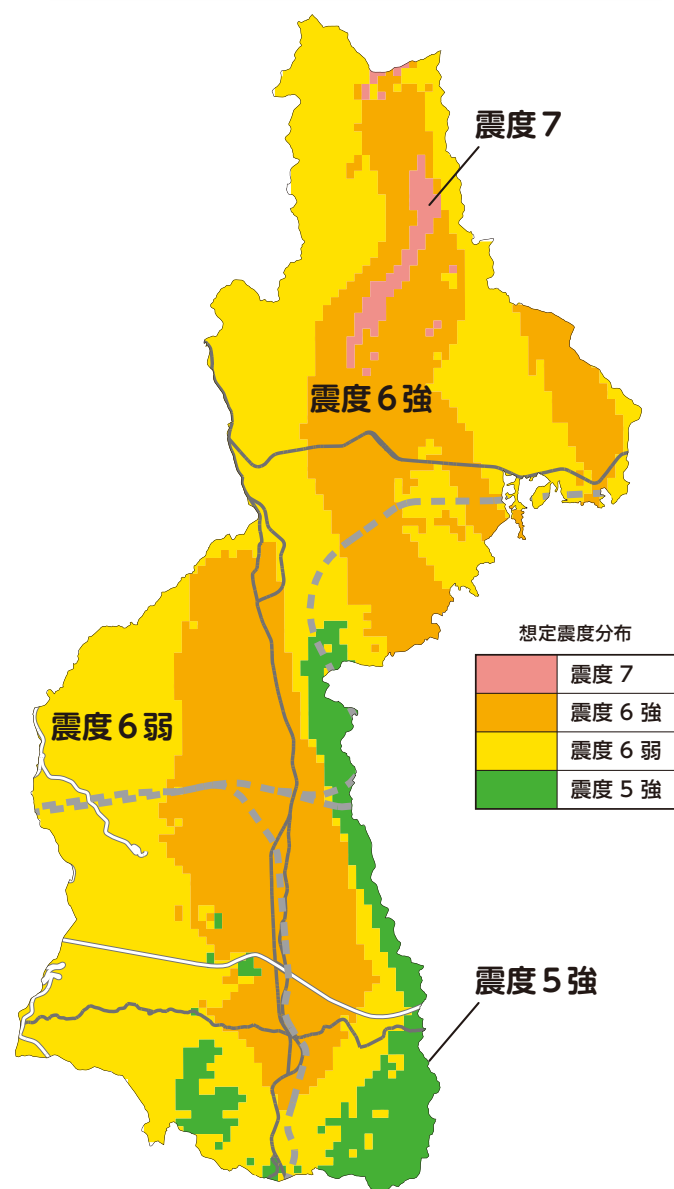
南海トラフ巨大地震

平成24年8月に内閣府から南海トラフ巨大地震の被害想定見直しが発表され、南海トラフに起因する地震の震度が変更されました。(生駒市全域震度6弱想定)



奈良地方気象台HP 南海トラフ地震震度分布推計結果図(陸側ケース)より

生駒断層帯地震



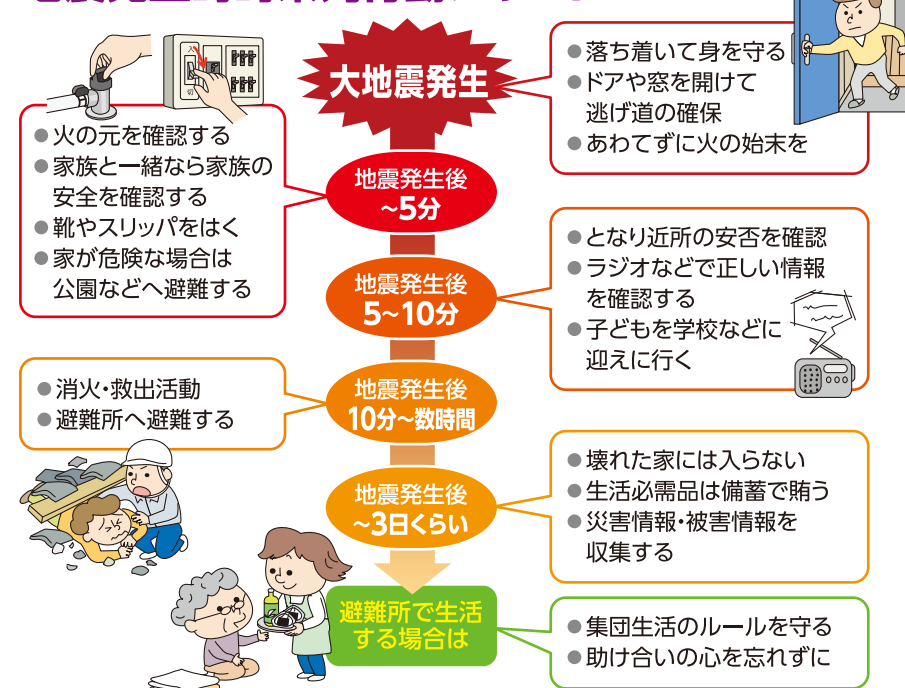
想定震度分布

震度 7
震度 6 強
震度 6 弱
震度 5 強



地震発生時の行動

地震発生時時系列行動チャート



地震でガスが止まったときは

ガスメーターの復帰方法

マイコンメーター(ガスメーター)が大きな揺れを感知して、安全のためガスを遮断している場合があります。その場合は、大阪ガスネットワーク株式会社公式サイトに記載の手順で復帰操作をしてください。

復帰方法はこちら→



ガスの供給停止状況について

ガスの供給停止状況については、以下の2次元コードをご確認ください。

ガスの供給停止状況はこちら→



震度と揺れ等の状況

震度 4

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が、倒れることがある。



震度 5弱

- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

震度 5強

- 物につかまらなと歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



震度 6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度 6強

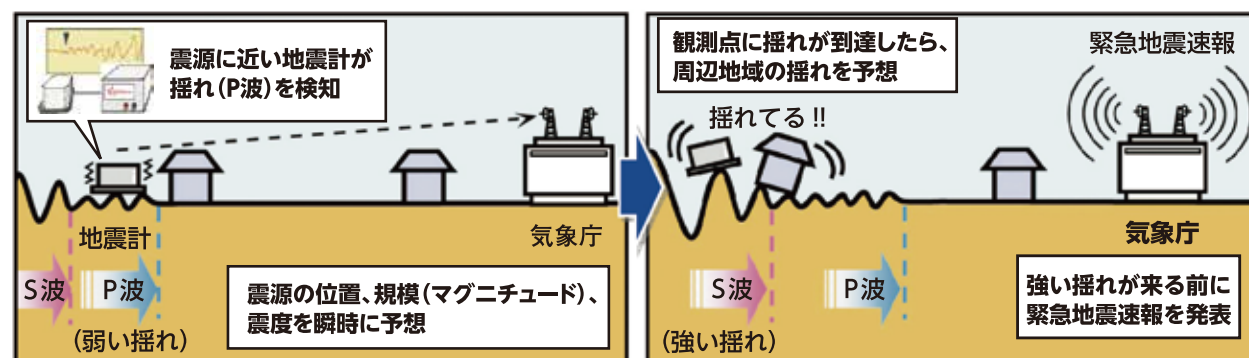
- はわなと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。



震度 7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

緊急地震速報のしくみ



どんな時に発表するの？

最大震度5弱以上または長周期地震動階級3以上を予想した時に、震度4以上または長周期地震動階級3以上を予想した地域に対して緊急地震速報(警報)を発表します。以下の手段で専用の報知音とともに伝えられます。



テレビ・ラジオ



携帯電話・スマホ※



防災行政無線

この他、知りたい場所の震度や猶予時間を入手できる受信端末、スマートフォンのアプリなどのサービスもあります。

※一部対応していない機種があります